



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月5日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒木 陽一 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	37,305	△0.2	600	△59.6	719	△60.4	442	△59.8
24年3月期第2四半期	37,362	△2.7	1,485	△23.9	1,818	△16.8	1,099	△34.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,048百万円 (△0.1%) 24年3月期第2四半期 1,049百万円 (15.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.21	—
24年3月期第2四半期	10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	93,211	51,445	55.1
24年3月期	92,002	50,638	55.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 51,400百万円 24年3月期 50,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	2.50	5.50
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	0.8	200	△86.6	700	△65.9	500	△48.7	4.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、[添付資料] 3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	111,452,494株	24年3月期	111,452,494株
25年3月期2Q	6,430,984株	24年3月期	6,425,381株
25年3月期2Q	105,025,250株	24年3月期2Q	105,034,116株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに回復しつつあるものの、欧州の財政危機による世界経済の減速や長引く円高等により、先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは日本山村硝子創業100周年となる2014年に向けた4ヵ年の中期経営計画の3年目に入りました。この中期経営計画において「世界のYAMAMURAへ心と技術を伝えたい」のビジョンのもと、「パッケージング事業の再編と国際化」「ニューガラス事業の多角化」「新規事業とR&Dの推進」「グループコーポレート機能の強化」「人材基盤の確立」の具体的展開に取り組んでおります。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

業界出荷量が前年同期比95.6%と落ち込む中、当社の出荷量も前年に届かなかったものの、ガラスびんの単価改定と海外向け機械設備の売上伸張により、セグメント売上高は19,051百万円（前年同期比1.9%増）と増収となりました。しかし、減価償却費・労務費の減少等があったものの原燃料・電力料金の高騰等により、セグメント利益は△100百万円（前年同期は382百万円）の損失となりました。

② プラスチック容器関連事業

当社プラスチックカンパニーにおいてペットボトル・飲料用キャップの出荷量がともに増加し、さらに、従来非連結子会社であった展誠（蘇州）塑料製品有限公司を当連結会計年度から連結子会社としたことにより、セグメント売上高は6,381百万円（前年同期比6.6%増）と増収となりました。しかし、減価償却費の減少や連結子会社が増えたことによる増益効果はあったものの、電力料金の高騰等によるコストアップや前連結会計年度第1四半期において震災の影響による損失を特別損失に振り替えていたこともあり、セグメント利益は491百万円（前年同期比31.1%減）と減益となりました。

③ 物流関連事業

新規顧客の開拓を進めてきたものの、輸送部門の売上減少が大きく響き、セグメント売上高は5,560百万円（前年同期比1.2%減）と減収となりました。また、新規受注案件の収支改善が十分に進められなかったことと、既存顧客の単価ダウンやコストアップ等により、セグメント利益は152百万円（前年同期比26.2%減）と減益となりました。

④ ニューガラス関連事業

国内家電メーカーの不調に伴い、当社ニューガラスカンパニーの主力製品であるプラズマテレビ用粉末ガラスや太陽電池部材用粉末ガラスの出荷も依然として低調に推移しました。また山村フォトニクス株式会社の売上も低調であったため、セグメント売上高は1,934百万円（前年同期比26.4%減）と減収となりました。外注費・労務費・減価償却費等の削減に注力したものの、売上減少をカバーしきれず、セグメント利益は△81百万円（前年同期は115百万円）の損失となりました。

⑤ その他事業

厳しい経営環境の中、営業活動に注力したものの、セグメント売上高は4,376百万円（前年同期比1.1%減）と減収となりました。しかし、子会社の業績改善が寄与し、セグメント利益は81百万円（前年同期比44.8%増）と増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は37,305百万円（前年同期比0.2%減）とわずかに前年に届かず、連結営業利益は600百万円（前年同期比59.6%減）と減益となりました。

さらに、海外の持分法適用関連会社における遊休資産の減損（171百万円）により持分法による投資利益が237百万円（前年同期比36.6%減）と減少したこともあり、連結経常利益は719百万円（前年同期比60.4%減）、連結四半期純利益は442百万円（前年同期比59.8%減）と減益となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期における通期の業績予想につきましては、当第2四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成24年5月11日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成24年11月5日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は8百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は9百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,752	8,815
受取手形及び売掛金	19,617	21,889
商品及び製品	6,746	6,699
仕掛品	439	428
原材料及び貯蔵品	2,041	2,321
その他	1,805	911
貸倒引当金	△45	△9
流動資産合計	41,357	41,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,499	10,537
機械装置及び運搬具(純額)	7,079	6,802
工具、器具及び備品(純額)	672	709
土地	11,319	11,319
建設仮勘定	391	993
有形固定資産合計	29,962	30,361
無形固定資産		
投資その他の資産	350	342
投資有価証券	2,821	2,750
関係会社株式	14,213	15,973
その他	3,355	2,778
貸倒引当金	△57	△53
投資その他の資産合計	20,332	21,449
固定資産合計	50,644	52,153
資産合計	92,002	93,211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,354	7,940
短期借入金	6,212	6,712
未払法人税等	238	336
引当金	639	696
その他	2,807	2,812
流動負債合計	17,252	18,499
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,030	14,030
退職給付引当金	3,098	3,031
特別修繕引当金	4,442	4,668
その他	541	536
固定負債合計	24,112	23,266
負債合計	41,364	41,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	25,958	26,163
自己株式	△1,219	△1,220
株主資本合計	56,113	56,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	160
繰延ヘッジ損益	35	△6
為替換算調整勘定	△5,775	△5,071
その他の包括利益累計額合計	△5,520	△4,917
少数株主持分	44	45
純資産合計	50,638	51,445
負債純資産合計	92,002	93,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	37,362	37,305
売上原価	30,086	30,911
売上総利益	7,275	6,393
販売費及び一般管理費	5,790	5,793
営業利益	1,485	600
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	57	46
持分法による投資利益	375	237
その他	194	141
営業外収益合計	631	428
営業外費用		
支払利息	172	168
租税公課	64	62
その他	62	78
営業外費用合計	298	309
経常利益	1,818	719
特別損失		
災害による損失	136	—
固定資産廃棄損	53	18
投資有価証券評価損	—	1
支払補償金	34	—
特別損失合計	224	19
税金等調整前四半期純利益	1,594	699
法人税、住民税及び事業税	543	345
過年度法人税等	△120	—
法人税等調整額	68	△91
法人税等合計	491	254
少数株主損益調整前四半期純利益	1,102	445
少数株主利益	3	2
四半期純利益	1,099	442

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,102	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△60
繰延ヘッジ損益	△52	△41
為替換算調整勘定	—	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	764
その他の包括利益合計	△53	602
四半期包括利益	1,049	1,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,046	1,045
少数株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,594	699
減価償却費	2,289	1,875
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,907	△2,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	△121	642
その他	76	△214
小計	931	736
利息及び配当金の受取額	63	59
利息の支払額	△174	△168
法人税等の支払額	△224	△230
法人税等の還付額	525	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,121	397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,688	△1,749
関係会社株式の取得による支出	—	△757
貸付金の回収による収入	52	741
その他	△131	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,767	△1,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12	—
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△1,600	△500
配当金の支払額	△367	△263
その他	△38	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,094	△810
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,746	△2,193
現金及び現金同等物の期首残高	12,106	10,752
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	256
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,359	8,815

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,695	5,986	5,626	2,627	32,935	4,426	37,362	—	37,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,586	814	6,075	3	8,480	481	8,961	△8,961	—
計	20,281	6,800	11,702	2,631	41,415	4,907	46,323	△8,961	37,362
セグメント利益	382	713	206	115	1,417	56	1,473	11	1,485

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額11百万円には、セグメント間取引消去53百万円、営業外損益調整等△41百万円が含まれております。営業外損益調整は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,051	6,381	5,560	1,934	32,928	4,376	37,305	—	37,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,464	836	6,105	3	8,409	363	8,773	△8,773	—
計	20,515	7,218	11,666	1,937	41,338	4,740	46,078	△8,773	37,305
セグメント利益 又は損失(△)	△100	491	152	△81	461	81	542	57	600

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額57百万円には、セグメント間取引消去62百万円、営業外損益調整等△5百万円が含まれております。営業外損益調整は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。